

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《1》

NPO 法人 奈良まほろばソムリエの会
保存継承グループ 作成

<p>史跡：滝寺の磨崖仏＝奈良市大和田町滝臺 1640 番地の 2 指定 1979 年 3 月 23 日、調査 2021 年 10 月 10 日 所有者・管理者＝奈良市大和田町</p> <p>【当面の課題】遊びの森公園駐車場から磨崖仏へ到着するまでの分岐点に案内板が 1 カ所しかない。迷わず到着するため数ヶ所の案内板の設置を希望する。</p> <p>【今後の課題】磨崖仏の風化が激しく分かり難いので説明板に当時の磨崖仏の全体像の記載を希望する。これ以上の剥落の進行を防ぎ現状を維持する対策が必要である。</p>
<p>史跡：塔の森＝奈良市長谷町、天理市福住町別所…… 2 市の境界にまたがる 指定 1954 年 3 月 2 日、調査 2020 年 9 月 22 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【今後の課題】奈良時代唯一の六角十三重の石塔だった。現在は風化・破損がひどく六重の石塔である。これ以上の破損を防ぐ対策を希望する。</p>
<p>史跡：尾山代（おやみで）遺跡＝奈良市月ヶ瀬尾山 3835、同市月ヶ瀬長引 指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2021 年 3 月 5 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【当面の課題】遺跡の周囲は農地で遺跡全体はきれいに保存されている。説明板が数ヶ所設置されているが、汚れや傷みで読み難い説明板があり補修が必要である。</p> <p>【今後の課題】車で見学に来た場合周辺は駐車場が無い。遺跡入口付近に 2 台駐車できるスペースがあるが駐車スペースの充実を希望する。</p>
<p>史跡：石打城跡＝奈良市月ヶ瀬石打 827 番地他 7 筆 指定 1995 年 3 月 22 日、調査 2021 年 3 月 5 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【当面の課題】県道から小さな案内板が 1 枚あるのみで、その先に案内板はなかった。もう少しわかりやすい案内をする必要がある。</p> <p>【今後の課題】各郭の看板があるが、遺構の確認はできない状況である。雑木と藪笹に覆われている状況である。もう少し史跡としての整備が行われても良いのではないか。</p>
<p>史跡：三陵墓（さんりょうぼ）古墳群＝奈良市都祁南之庄町小広 978、東山 534 他 指定 1996 年 3 月 22 日、調査 2020 年 9 月 22 日 所有者・管理者＝奈良市、國津神社</p> <p>【今後の課題】定期的な草刈等行われているようであるが、一部の案内板周辺では、雑草が繁茂しており、カビが発生し読みづらい状況であった。</p>
<p>史跡：郡山城跡＝大和郡山市北郡山町 指定 1960 年 7 月 28 日、調査 2020 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝（公財）郡山城史跡・柳沢文庫保存会</p> <p>【今後の課題】石垣の雑草が繁茂しており、景観を阻害しているため対策が必要。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《2》

<p>史跡：小泉大塚古墳＝大和郡山市小泉町字大塚 1701 指定 1999 年 3 月 19 日、調査 2020 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝奈良県 【当面の課題】案内板の周囲は雑草が生い茂り定期的な管理が必要である。 【今後の課題】丁未の乱（ていびのらん 587 年）で物部守屋を矢で射抜いて勝利を引き寄せたと伝わる「迹見赤檣（とみのいちい）」の墓の説を説明板に希望する。</p>
<p>史跡：西田中瓦窯（がよう）＝大和郡山市西田中町 指定 2017 年 2 月 14 日、調査 2020 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝大和郡山市 【今後の課題】4 基発掘のうち、1 基だけでも埋め戻さずに発掘時の様子が解るような工夫がほしい。</p>
<p>史跡：大和天神山古墳＝天理市柳本町 1898 の一部、1898 の 3 指定 2009 年 3 月 31 日、調査 2021 年 3 月 19 日 所有者・管理者＝伊射奈岐神社 【今後の課題】貴重な副葬品が発見された大和天神山古墳のみならず周囲の行燈山古墳や渋谷向山古墳を中心とした柳本古墳群全体の情報発信と保存を希望する。</p>
<p>史跡：小谷古墳＝橿原市鳥屋町 716 番地 指定 1977 年 5 月 20 日、調査 2020 年 9 月 18 日 所有者・管理者＝鳥屋町共有 【当面の課題】傾斜地の古墳ゆえ大雨などによる土砂流出や地盤崩れの心配があり整備を要する。</p>
<p>史跡：岩船＝橿原市見瀬 指定 1976 年 3 月 30 日、調査 2020 年 9 月 18 日 所有者・管理者＝見瀬町共有 【当面の課題】史跡までの道に急勾配の場所もあるので、上り口付近に、雨天時・雨後の見学には注意するように明記した案内掲示もあればよいと思う。 【今後の課題】岩船の底にも竹が進出しているので、将来的には対策が必要か。</p>
<p>史跡：益田池の堤＝橿原市鳥屋町 指定 1980 年 3 月 28 日、調査 2020 年 9 月 18 日 所有者・管理者＝国、奈良県、橿原市 特に課題なし</p>
<p>史跡：文殊院東古墳＝桜井市阿部 645 指定 1974 年 3 月 26 日、調査 2020 年 8 月 9 日 所有者・管理者＝文殊院 【今後の課題】西古墳の説明板に国指定特別史跡と書かれているのと同じように県指定史跡との明記が望ましい。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《3》

<p>史跡：多武峯町石（とうのみねちょういし）＝桜井市上ノ宮、浅古下、倉橋、北音羽など 指定 1960 年 3 月 30 日、調査 2020 年 8 月 9 日 所有者・管理者＝談山神社 特に課題なし</p>
<p>史跡：谷首（たにくび）古墳＝桜井市阿部 指定 1958 年 3 月 20 日、調査 2020 年 8 月 9 日 所有者・管理者＝八幡神社 特に課題なし</p>
<p>史跡：ムネサカ古墳（第一号墳）＝桜井市栗原 417 番地 指定 1958 年 3 月 20 日、調査 2021 年 1 月 7 日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】運輸会社の敷地を通るため、会社の了解を得て入山する。笹竹が多く茂り古墳までたどり着くのが難しいので、見やすい場所に案内板の設置を望む。</p>
<p>史跡：越塚古墳＝桜井市栗原 指定 1959 年 2 月 5 日、調査 2021 年 1 月 7 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>
<p>史跡：浮田杜（うきたのもり）伝説地＝五條市今井町 指定 1957 年 6 月 13 日、調査 2020 年 7 月 25 日 所有者・管理者＝荒木神社 【当面の課題】2013 年ごろから荒木山北側の隣接地から伸びてきた竹の根の影響で、杜のシイ、ヒノキなどが枯れる事態が起きた。引き続き氏子総代会で対策を講じてほしい。</p>
<p>史跡：荒坂窯跡＝五條市西河内町 指定 1974 年 3 月 26 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者＝奈良開発興業（株）、管理者＝五條市 【当面の課題】半地下式の登り窯は長さ約 9m で、奥側の焼成室を覆う筒状の粘土質の部分はかつて樹脂を吹き付けて強度アップ。再び劣化が進んでおり、適切な補修が必要だ。</p>
<p>史跡：南阿田大塚山古墳＝五條市南阿田町 指定 1981 年 3 月 17 日、調査 2021 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝国（財務省） 【当面の課題】市予算で年 2 回、墳丘一帯の雑草刈り取りが行なわれてきたが、財政難で休止の案が出ている。文化財保存の一環として持続していただきたい。</p>
<p>史跡：猫塚古墳＝五條市西河内町 指定 2013 年 3 月 29 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《4》

<p>史跡：権現堂古墳＝御所市樋野 109 指定 1978 年 3 月 28 日、調査 2020 年 10 月 14 日 所有者・管理者＝樋野区 【当面の課題】説明板・案内板の傷みが進んでおり、補修が必要と思われる。 【今後の課題】補強鉄枠の傾きが見られるので、補修が望まれる。羨道を埋めている土砂の除去も必要だろう。</p>
<p>史跡：新宮山（しんぐうやま）古墳＝御所市稲宿 801 指定 1980 年 3 月 28 日、調査 2020 年 10 月 14 日 所有者・管理者＝個人 【今後の課題】古墳入口の上部左が若干崩れている。個人所有であり、当局による修復保存を望む。</p>
<p>史跡：美努岡萬墓（みののおかまろぼ）＝生駒市青山台 117－134 他 指定 1975 年 3 月 15 日、調査 2020 年 7 月 25 日 所有者・管理者＝生駒市 【当面の課題】発見当時は丘陵地であったが、今は周囲が住宅になっていて見つけ難いので、案内板の数ヶ所の設置を希望する。 【今後の課題】公園内に立つ「墓碑の裏面の 173 文字は、発見された青銅の墓誌の 173 文字を写したものである。」との説明を説明板に記すことを希望する。</p>
<p>史跡：首子古墳群＝葛城市當麻 指定 1981 年 3 月 17 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者＝国（財務省）、管理者＝葛城市 【今後の課題】5 号墳（葛城市當麻 1569）にある旧當麻町設置の説明板の内容が古く、現状に即していないため、訪れる人に分かりやすくなるよう修正を望みたい。</p>
<p>史跡：竹内古墳群＝葛城市竹内、當麻 指定 1982 年 3 月 12 日、調査 2021 年 7 月 17 日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】「史跡の丘」は整備されていないのでまともに歩けない。2 か所ある地図板も一つはほとんど読めない。古墳の表示板も文字が消え、破損、紛失もある。 【今後の課題】「史跡の丘」以外は竹や倒木等に覆われている。個人所有地をどのように整備していくのか。</p>
<p>史跡：芝塚古墳＝葛城市兵家芝塚 595 指定 1986 年 3 月 18 日、調査 2021 年 6 月 26 日 所有者・管理者＝個人 【当面の課題】説明板、表示板がほとんど読めなくなっており修復が必要。併設している 2 号墳石棺の保存施設が少し崩れている。</p>
<p>史跡：鳥谷口古墳＝葛城市染野 指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 9 月 19 日 所有者・管理者＝葛城市 【当面の課題】県指定時の 1987 年に横口式石槨の近くに設置された名称板の劣化が進んで文字が読み辛く、補修が必要。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《5》

<p>史跡：平林古墳＝葛城市兵家 指定 1991 年 3 月 8 日、調査 2020 年 7 月 25 日 所有者・管理者＝葛城市</p> <p>【当面の課題】きれいに保存され、桜の名所でもあるが、周辺道路が複雑で目立つ案内板も無いため、たどり着くのが困難。案内板を設置していただきたい。</p>
<p>史跡：加守廃寺＝葛城市加守 指定 1995 年 3 月 22 日、調査 2021 年 7 月 17 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【当面の課題】南遺跡には説明板があるが、約 200m 離れた北遺跡には説明板が無い ため大変分かりにくい。南・北遺跡共に近くのウォークルート沿いに案内板設置を望む。 【今後の課題】北遺跡が、説明板も何も無い私有地のため、将来遺構が破壊される 恐れを感じる。是非とも説明板を設置していただきたいと思う。</p>
<p>史跡：只塚（ただつか）廃寺＝葛城市染野 指定 1996 年 3 月 22 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝国（財務省）</p> <p>【当面の課題】説明板や案内板が全く無いため、文化財だと気づきづらい状態。国の 管理地のため市で説明板を設置することは難しいとのことだが、早い設置実現を期待 したい。</p>
<p>史跡：笛吹神社古墳＝葛城市笛吹 448 指定 1998 年 3 月 20 日、調査 2020 年 8 月 22 日 所有者・管理者＝葛木坐火雷（かつらきにいますほのいかづち）神社（笛吹神社）</p> <p>【当面の課題】古墳内部奥の崩れが起きており、専門家の調査結果に基づく修復を 望む。 【今後の課題】古墳内部の崩れを止める必要がある。影響を与えていると考えられる 古墳上の竹の繁茂をどうするか。</p>
<p>史跡：谷脇古墳＝宇陀市大宇陀守道モト下字黒石 927 番地 指定 1978 年 3 月 28 日、調査 2020 年 12 月 3 日 所有者・管理者＝個人</p> <p>【当面の課題】養鶏場の鶏舎の横を通り、踏み跡もはっきりしない道の先に古墳が ある。案内板はない。 【今後の課題】他の見学ルートなども将来的には検討してもらい、貴重な古墳の存在 が周知され、その保護について対策を講じてもらいたい。</p>
<p>史跡：駒帰廃寺（伝安楽寺）附瓦窯跡＝宇陀市菟田野駒帰 283・295 番地 指定 1972 年 3 月 8 日、調査 2020 年 12 月 3 日 所有者・管理者＝宇陀市、個人</p> <p>【当面の課題】駒帰廃寺から瓦窯跡に行く案内板が必要ではないか。 【今後の課題】駒帰廃寺には駒帰廃寺のみの説明板はあるが、瓦窯跡と併せた説明 板にしたい。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《6》

<p>史跡：奥ノ芝一号墳 奥ノ芝二号墳＝宇陀市榛原福地 指定 1973 年 3 月 15 日、調査 2020 年 6 月 21 日 所有者・管理者＝宇陀市 【当面の課題】二号墳は定期的な草刈りが必要。 【今後の課題】一号墳の古墳内部には空き缶等のゴミが投げ入れられていたので古墳についての説明板及び案内板があるのが望ましい。</p>
<p>史跡：飯降（いぶり）薬師の磨崖仏＝宇陀市室生向瀨 指定 2017 年 2 月 14 日、調査 2020 年 6 月 21 日 所有者・管理者＝向瀨自治会西出上垣内 特に課題なし</p>
<p>史跡：大川（おおこ）遺跡＝山辺郡山添村大字中峰山 1736 番地 指定 1990 年 3 月 9 日、調査 2020 年 11 月 22 日 所有者・管理者＝水資源機構 【今後の課題】現在、「カントリークラブ大川」として公園化されている。さらに数ヶ所に「竪穴式住居」の復元を増やし、縄文時代の人々の生活を感じられる遺跡を希望する。</p>
<p>史跡：西宮（にしのみや）古墳＝生駒郡平群町西宮 543 指定 1956 年 8 月 7 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝国(財務省) 【今後の課題】奈良県の代表的な切石古墳で自由に見学ができる。古墳の理解を深めるため、説明板に奥壁・側壁・天井石はいずれも一枚岩が使用されている構造図を希望する。</p>
<p>史跡：宮山塚古墳＝生駒郡平群町椿井 1505 番地 指定 1969 年 3 月 28 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝個人 【今後の課題】壁も天井も石積みによるドーム型玄室の貴重な古墳。兵庫県南部地震（1995 年）で古墳天井部の一部が落下したので崩落対策を急いでほしい。</p>
<p>史跡：ツボリ山古墳＝生駒郡平群町福貴 指定 1973 年 3 月 15 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝平群町 特に課題なし</p>
<p>史跡：三里（みさと）古墳＝生駒郡平群町三里 9 5 8 番地 指定 1975 年 3 月 31 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝個人 【今後の課題】小高い丘の上であり、そこは田畑となっている。石室のみがこれらの畑に囲まれている状況である。少しでも古墳周辺の整備ができれば保存と活用に寄与できる。</p>
<p>史跡：平隆寺跡＝生駒郡三郷町勢野 指定 1975 年 3 月 31 日、調査 2021 年 7 月 30 日 所有者・管理者＝平隆寺 【今後の課題】寺の北側の民有地を発掘し、旧平隆寺の伽藍配置を確認できれば。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《7》

<p>史跡：仏塚古墳＝生駒郡斑鳩町法隆寺 指定 1997 年 3 月 21 日、調査 2021 年 2 月 19 日 所有者・管理者＝国（財務省） 【当面の課題】古墳の入り口付近にある鉄製名称板が、腐食により落下し無造作に置かれていた。支柱のみが立っている状況である。 【今後の課題】石室入口は全面の田畑より 1.5 m ほど低い。雨水等の処理が必要。石室が徐々に埋まっていくのではないか。</p>
<p>史跡：黒田大塚古墳＝磯城郡田原本町黒田 348 指定 1983 年 3 月 15 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝田原本町 【当面の課題】県指定は昭和 58 年 3 月 15 日となっているが、県教育委員会の説明板には昭和 58 年 3 月 20 日となっており記載間違いと思われる。</p>
<p>史跡：与楽鐘子塚（ようらくかんすづか）古墳（主要部は国指定）＝高市郡高取町与楽 指定 1983 年 3 月 15 日、調査 2021 年 2 月 4 日 所有者・管理者＝個人 特に課題なし</p>
<p>史跡：豊浦寺跡（とゆらでらあと）＝高市郡明日香村 指定 1977 年 3 月 22 日、調査 2021 年 2 月 4 日 所有者・管理者＝向原寺 特に課題なし</p>
<p>史跡：紀寺跡＝高市郡明日香村小山 指定 1993 年 3 月 5 日、調査 2021 年 2 月 4 日 所有者・管理者＝奈良県（個人） 【今後の課題】県史跡があることが分かりにくいので、案内板を設けたり、説明板の位置などに工夫が必要と思う。</p>
<p>史跡：達磨寺石塔埋納遺構＝北葛城郡王寺町本町 2 丁目 1-40 指定 2014 年 3 月 28 日、調査 2021 年 7 月 17 日 所有者・管理者＝達磨寺 特に課題なし</p>
<p>史跡：畠田（はたけだ）古墳＝北葛城郡王寺町明神 4 丁目 指定 2007 年 3 月 30 日、調査 2020 年 6 月 27 日 所有者・管理者＝王寺町 【当面の課題】説明板は詳細に記載されているが、板面の汚れで文字が読み辛い。定期的に清掃していただきたい。</p>
<p>史跡：西安寺跡＝北葛城郡王寺町舟戸 2 丁目 4189 指定 2019 年 2 月 22 日、調査 2021 年 7 月 17 日 所有者・管理者＝舟戸神社 【当面の課題】説明板に掲載の写真が読む方向とは反対側から撮影されたもので理解しづらい。現地までの道も分かりにくい。説明板の修正と案内板の設置を望みたい。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【史跡】《8》

<p>史跡：三吉（みつよし）石塚古墳＝北葛城郡広陵町三吉字石塚 指定 1992 年 3 月 6 日、調査 2020 年 11 月 22 日 所有者・管理者＝広陵町 【今後の課題】現地付近に案内板がない。車や路線バスで訪れる人、それぞれに分かりやすい案内板設置を望みたい。専用の駐車場も設置していただければありがたい。</p>
<p>史跡；龍門寺塔跡＝吉野郡吉野町山口 指定 1954 年 3 月 2 日、調査 2020 年 12 月 12 日 所有者・管理者＝国 【当面の課題】県教育委員会の説明板に指定年月日の記載がないため、記載が必要。 【今後の課題】史跡内にある塔心礎や建物跡の入り口に簡単な標記の石柱があるが、その場所まで行かないとわからない。そこがわかる場所に案内板の設置や、そこへ至る道の整備を望む。</p>
<p>史跡：石神古墳＝吉野郡大淀町大岩 指定 2012 年 3 月 30 日、調査 2021 年 3 月 13 日 所有者・管理者＝（株）奈良ロイヤルゴルフクラブ 【今後の課題】道案内板が 1 基のみで道に迷いそう。分岐点に案内板が必要だと思う。</p>
<p>史跡：岡峯古墳＝吉野郡下市町阿知賀 指定 1966 年 3 月 26 日、調査 2020 年 9 月 26 日 所有者・管理者＝下市町 特に課題なし</p>

以上